



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東  
 コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小出 孝雄 (TEL) 03-6864-4261  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	8,771	△1.4	1,053	—	1,042	—	875	—
2019年12月期第3四半期	8,895	0.2	△649	—	△683	—	△1,473	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 875百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △1,473百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	101.84	101.34
2019年12月期第3四半期	△173.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	4,547	2,262	49.4
2019年12月期	5,028	1,377	27.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,246百万円 2019年12月期 1,361百万円

(注) 2020年12月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映させております。詳細については添付資料P.7の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年度12月期 通期	11,500	△1.3	1,100	—	1,050	—	800	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	8,614,600株	2019年12月期	8,596,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	5,230株	2019年12月期	230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	8,600,096株	2019年12月期3Q	8,490,671株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(企業結合等関係) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により極めて先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場規模は、「ファミ通ゲーム白書2020」によると、2019年に1兆2,140億円にまで成長し、2021年は1兆2,720億円に達すると予想されております。しかし、中国・韓国系企業のタイトルのシェアは年々増加しており、ゲームメーカーの競争環境は激化しております。そのため、資金調達力などの企業体力に限界のある小・中規模事業者の淘汰が進んでおり、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲームサービス事業を主力事業としております。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取や協業、またはM&Aで仕入れ、国内最大数のタイトル運営で蓄積したデータ・アセット・ノウハウをシェアリングすることで収益性を高め、タイトルの長期利益化・長期運営を実現しております。

当社グループは、規模成長を追求するべく、2018年から6か月の再設計期間を経て黒字化を目指す「再設計型」タイトルの獲得を開始し、2019年から仕入ペースを加速させる中で、市場に増加している「再設計型」の買取を積極的に行ってきました。加えて、新機能開発などで売上伸長を狙う「グロスアップ」や、他メーカーが開発・運営しているタイトルの海外版を当社が開発・運営する「グローバルチャレンジ」を積極的に推し進めてまいりました。しかし、これらの施策が、計画と乖離する結果となり、業績が悪化いたしました。

業績の悪化をうけて、2019年12月期第2四半期決算発表と同時に「転換点リカバリープラン」を発表いたしました。規模成長の追求から持続的利便体質を目指す戦略に転換し、「再設計型」・「グロスアップ」・「グローバルチャレンジ」の取り組みは凍結いたしました。加えて、人員の最適化・全社費用の徹底削減などの構造改革を行った上で、データドリブンスマート運営の徹底を行いました。

こういった取り組みにより、持続的利便体質への体制構築は完了し、2020年12月期において、営業利益は第3四半期連結累計期間として過去最高を達成いたしました。一方、当第3四半期においては、新規タイトルの獲得が遅延したことと、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり需要影響が低下したことにより、前四半期比減収となりました。

当第3四半期において、2タイトルの仕入と2タイトルのエンディングを行い、2020年9月末時点での運営タイトル数は36となっております。

当社グループは、2020年からの第三創業期と位置づけ、AI/5G時代の進展に合わせた新規事業を今後創出してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,771,976千円（前年同期比1.4%減）、営業利益は1,053,645千円（前年同期は営業損失649,447千円）、経常利益は1,042,960千円（前年同期は経常損失683,573千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は875,836千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,473,262千円）となっております。

なお、当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて480,957千円減少し、4,547,387千円となりました。これは主に、売掛金の減少（前連結会計年度末比330,223千円の減少）などがあったことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,365,140千円減少し、2,285,302千円となりました。これは主に、社債の減少（前連結会計年度末比944,500千円の減少）などがあったことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて884,183千円増加し、2,262,084千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加（前連結会計年度末比875,837千円の増加）があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年8月13日公表の「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」の開示をご覧ください。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,193,725	2,372,932
売掛金	1,517,825	1,187,602
未収入金	268	985
未収還付法人税等	45,677	1,232
その他	255,227	232,606
流動資産合計	4,012,723	3,795,360
固定資産		
有形固定資産	121,602	65,038
無形固定資産		
のれん	191,462	142,229
その他	72,923	37,231
無形固定資産合計	264,386	179,460
投資その他の資産		
敷金	310,253	174,247
長期前払費用	143,263	101,119
繰延税金資産	113,595	89,107
その他	62,519	143,054
投資その他の資産合計	629,632	507,528
固定資産合計	1,015,620	752,027
資産合計	5,028,344	4,547,387
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	258,407	143,090
未払金	492,323	167,386
短期借入金	70,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	944,500	721,750
未払法人税等	26,410	64,924
事業構造改革引当金	28,581	14,986
賞与引当金	—	39,642
その他	234,766	334,868
流動負債合計	2,154,988	1,586,647
固定負債		
長期借入金	150,000	75,000
社債	1,338,750	617,000
資産除去債務	5,193	5,193
繰延税金負債	1,510	1,461
固定負債合計	1,495,454	698,655
負債合計	3,650,443	2,285,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,070,325	3,076,557
資本剰余金	3,050,882	3,057,113
利益剰余金	△4,759,046	△3,883,209
自己株式	△353	△4,161
株主資本合計	1,361,807	2,246,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	69
その他の包括利益累計額合計	—	69
新株予約権	16,093	15,715
純資産合計	1,377,901	2,262,084
負債純資産合計	5,028,344	4,547,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,895,514	8,771,976
売上原価	5,518,548	4,728,691
売上総利益	3,376,965	4,043,285
販売費及び一般管理費	4,026,413	2,989,639
営業利益又は営業損失(△)	△649,447	1,053,645
営業外収益		
受取利息	43	24
為替差益	449	—
法人税等還付加算金	457	465
還付消費税等	6	26
雑収入	220	—
消耗品売却収入	—	2,081
その他	0	38
営業外収益合計	1,178	2,636
営業外費用		
支払利息	1,568	5,392
株式交付費	240	—
社債発行費	23,318	—
社債利息	10,119	7,501
その他	57	428
営業外費用合計	35,304	13,321
経常利益又は経常損失(△)	△683,573	1,042,960
特別利益		
投資有価証券売却益	19,397	—
新株予約権戻入益	—	378
特別利益合計	19,397	378
特別損失		
固定資産除却損	2,480	2,640
減損損失	217,977	54,569
事業構造改革費用	249,063	—
特別損失合計	469,521	57,209
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,133,697	986,128
法人税、住民税及び事業税	41,224	85,883
法人税等調整額	298,340	24,407
法人税等合計	339,565	110,291
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,473,262	875,836
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,473,262	875,836

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,473,262	875,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	69
その他の包括利益合計	—	69
四半期包括利益	△1,473,262	875,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,473,262	875,906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(重要な引当金の計上基準)

事業構造改革引当金

事業構造改革に伴い、今後発生が見込まれる費用について合理的な見積額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2019年12月1日に行われた株式会社MYLOOPSとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

また、契約に定める価格調整に基づく条件付取得対価の支払が確定したことにより、取得時に発生したものとみなして取得原価を修正し、のれんの金額及びのれんの償却額を修正しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しを行った結果、主として繰延税金資産に69,200千円が配分され、暫定的に算定されたのれんの金額は66,132千円から130,800千円増額し196,932千円となりました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は49,233千円、当第3四半期連結会計期間末におけるのれんの金額は142,299千円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。